

誤発進防止対策方法のご紹介

1. 誤発進の原因

- ・平成22年に発生した誤発進事故9件全てにおいて、車両の鍵を預からなかった、または、預かった鍵を充填ホースを外す前に運転手へ返したことが主な原因であることが判明しました。
- ・また、機器の故障で伝票を手書き発行している時や、充填待ち車両が多い時など、忙しい時に発生しています。このような時には、落ち着いて確実な作業をお願い致します。
- ・必ず、充填ホースを外してから、カードや鍵を返却するよう、充填作業手順を徹底してください。

2. 誤発進への対策方法

充填作業手順の遵守および忙しい時でも落ち着いて確実に作業することを繰り返し保安教育の中で徹底してください。

以下に天然ガススタンドで実際に行われている誤発進防止対策を示します。各スタンドで実施しやすく、効果的な方法を採用して対策をお願い致します。

(1) 車両の鍵（キー）を預かる

a. 充填口付近へ鍵をかける方法



充填カードとともに鍵を預かることで、エンジンをかけることができないようにしています。

充填口付近に車両の鍵をかけると、確実にホースを外してから鍵を返却することを意識でき、誤発進防止を徹底できます。

b. 充填カードとともに鍵を預かる方法



充填ホースが複数あるところでは、充填ホース毎に間違えないよう分かりやすく預かる工夫をして下さい。

充填終了後は、充填カードと鍵を間違えないように注意して取り扱い、必ず充填ホースを取り外してから、返却します。

(2) ホースと輪止めを一体化



充填ホースと輪止めをつなげてセット化することで、注意しようとする意識が高くなります。

(3) 輪止めを置く



- ・ 充填前に輪止めを置くことで、車両の発進を防止します。
- ・ 充填後は、充填ホースを外してから、輪止めを取り外す。

(4) 充填ホースを目立つように加工



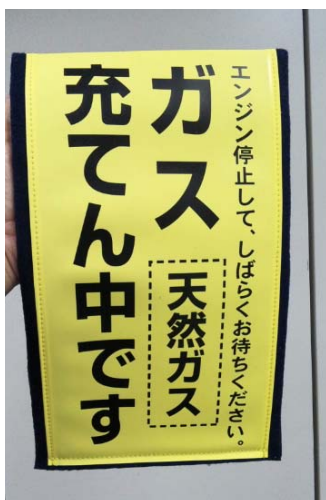
充填ホースを目立つようにすることで、充填作業員だけでなく、運転手にもホースの存在を意識させることができ、誤発進防止に役立ちます。

(5) 誤発進防止コーンの利用



- ・ 運転手が見やすい場所へ誤発進防止コーン等を置く。
- ・ 充填後は、作業全てが終了してから取り除く。

(6) 誤発進防止帯の活用



- ・ ドライバーが見やすいところ（ワイパーやミラー）へ掛ける。
- ・ 充填後、作業が全て終了して最後に外す。

3. 参考資料

天然ガススタンド車両充填操作マニュアル（例）

以上

天然ガススタンド 車両充填操作マニュアル（例）

このマニュアルは一例を示したものです。
各スタンド事業者で、安全確実に充填操作ができる
ように活用をお願い致します。

はじめに

本マニュアルは、一般的な天然ガススタンドにおいて、車両の誤発進を防止し安全に充填操作をするため、基本操作を示したものです。各スタンドで手順が異なる場合もあると思われませんが、これを参考に、安全な充填作業に活用いただければ幸いです。

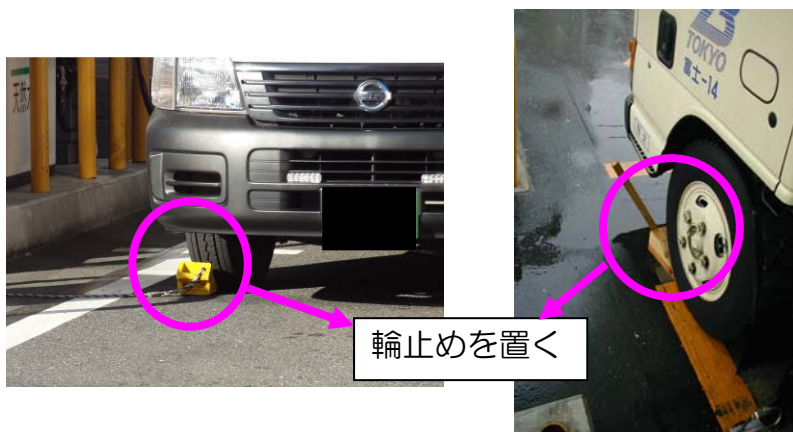
充填の基本操作

1. 充填車両の誘導

- (1) 周囲の安全を確認して、
停止位置に車両を誘導する。



- (2) 車両が停止したことを確認し、輪に輪止めを置く。



2. 充填準備

- (1) エンジンが停止し、サイドブレーキが引かれて、停止していることを確認する。

- (2) 車両の充填口扉を開いてもらい、充填カードと車両の鍵（キー）を預かる。
(誤発進防止装置付きの車両についても
鍵を預かる。)

- (注) 充填カードと鍵は、他車のものと
間違えないよう所定の場所に置く。



(3) 車両の容器(ボンベ)の有効期限が過ぎていることを確認する(充填口に表示)。

(注) 有効期限が近づいている場合
運転手にその旨を伝え検査を
依頼する。
「検査有効期限」または
「再検査有効期限」(再検査を受
けた容器の場合) という欄に
表示されている。

車載容器総括証票(例)	
搭載容器本数	2本
充填可能期限	平成36年10月28日
検査有効期限	平成25年10月28日
最高充填圧力	20MPa
車体番号	NKR80-70.....

容器再検査合格証票(例)	
再検査有効期限	平成25年 3月 8日
再検査日	平成23年 2月 9日

3. 充填作業

(1) 充填ホースを車両に接続する。

充填ホースが車両に確実に接続していることを確認し、
三方弁をゆっくり開ける(充填側へ)。



(2) POSに充填カードを通し、充填開始ボタンを押す。

(注) 流量表示がゼロから順調に増加することを確認する。

(3) 充填が終了したら、三方弁を閉じる（脱圧側へ）。

（注）三方弁操作はゆっくり行う。脱圧音が聞こえる。

(4) 充填ホースを車両から外してディスプレイに戻す。

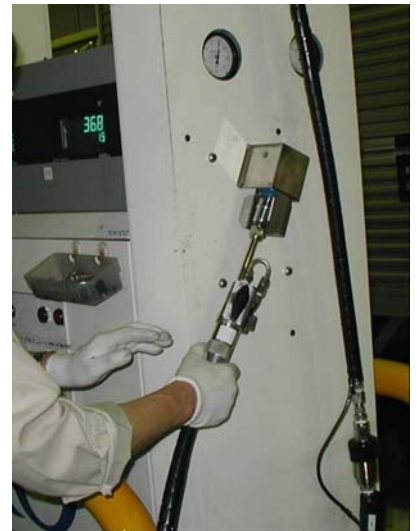
（注1）ホースを戻すと充填伝票が発行される。

（注2）誤発進防止装置付きの車両もあるので、
充填口扉を確実に閉じること。

（注3）ノズルをノズル掛けに収納する前に、リミ
ットスイッチを手で押さえて、伝票を発行
させないこと。

(5) 車両の輪止めを取り外す。

（注）必ず充填ホースを外した後に、輪止めを外す。



(6) 充填伝票、充填カード、鍵を運転手へ返却する。

（注）充填伝票はサイン等必要に応じて実施する。

伝票・カード・鍵の返却前に、必ず

「充填ホースの着脱ヨシ！」と指差呼称すること。

(7) 周囲の安全を確認して、車両を発進させる。

伝票プリンター等の機器故障時や、スタンド混雑時でも
充填マニュアル通り、作業を行うこと。